

●行政視察 （福岡県大野城市、太宰府市） 奥山 幸子

7月6日（月）～7月8日（水）

1 研修先

福岡県大野城市、太宰府市

2 研修目的

防災対策について

3 成果（具体的に）

大野城市

災害時応援協定について

・逃げタオル運動

なんのことかと思っていたが、効果的な対策だった。災害がおきて避難するときに、玄関やポストなど目立つところにタオルをかけて逃げる運動。ご近所どうして安否を確認することで共助による救助や避難の実現が期待される。

（1）協定締結の要請について

様々な団体・事業者と協定し、「分野別マトリクス」に基づいて業種に応じた要請を行っている。連絡網がつくられていて、情報がスムーズに行き渡る仕組みは大切なので、八丈町でも作るべきと思った。

（2）実際の災害での協定活用について

食料確保協定、福祉避難所の受け入れ

（3）物資や運送にかかった経費や人件費は原則、市が費用負担

それぞれの役割分担がきちんと決められていることが大切だと思った。

太宰府市

テーマは 災害対策について

1. 避難行動要支援者避難支援制度

市は避難行動要支援者の把握を行っていて、今年度で1468人いる。そのうち個別避難計画作成済の方は473人。更新のため2年に一度対象者に申請書を出している。一方で避難支援者は随時募集しているとのこと。きめ細かい対応を行っていると感じた。また、「トイレカー」を導入していて八丈町にも必要と思った。

2. ペットの同伴避難について

災害時のペット避難については、「同行避難」が全国で行われているが、「同伴避難」はまだ聞かない。太宰府市では数年前から実施されていて、八丈町の防災対策にぜひ取り入れてほしいと思った。条件としては、同伴避難が出来る指定場所があることと、避難所でのルールが決められていて住民に周知できていることだ。